

まちが学び舎 Letter

“ふるさとから豊かな生き方を学ぶ”「ふるさと・キャリア教育プロジェクト」

2022. 2. 25

担当：学びの場クリエイター 西村



2月18日（金）

三浦小学校5・6年生「手作り楽器・演奏」

活動の中で出会った「感性」「表現」「探究心」をお伝えします。（『 』は子どもの声）

・木と音の会・泉谷貴彦さんに学ぶ、3回の特別授業のこの日は最終回でした。

・まずは泉谷さんよりお知らせ。「アメリカから3週間前に届くはずだった弦がまだ来ない。なぜでしょう？」→『アメリカで何かあった』→「アメリカ“も”。世界も。」→『コロナ？』

世界はつながって、色々な影響がありますね。

・今日は他の楽器も使って、手作り楽器の音楽を楽しもう！と、演奏の活動がスタート。

・「赤はド、青はファ。自由に遊んでみて！」の声かけに、まさに自由に楽器を触りだすみんな。リズムを作ったり、知っている曲を探ってみたり。

・その後、ドとレだけを使って“まねっこ遊び”
まずは、泉谷さん→みんな。静けさの中一人ひとりの音が響いて、みんなのドキドキも伝わります。自分の番も友達の番も大切に、やさしさがいっぱい。

・次は、みんな→泉谷さん。「難しくてもいいよ！」
みんなが“発明”したリズムやメロディーを、泉谷さんがソックリにまねてくれて、楽しかったね！

・「キラキラ星をやってみよう。メロディー知ってる？ 楽ふ見なくていい。探しながら弾いてみて。」

「ステキに見える演奏は、メロディーの流れにそって弾くこと。まちがっても止まらず堂々と！」

黙々と自分の楽器に向き合い、どんどん音を見つけてメロディーを奏でていくみんな。あれ？これ初めての楽器じゃなかった？？何年も経験があるみたいに自信をもって堂々と、楽しそう！なんと最後には、3パートに分かれた3重奏まで完成。

「10分でできちゃった！みんなスゴイ！」と泉谷さんもビックリ。残りの時間で「カエルのうた」もできました。（ドイツの幼稚園でも歌うそう）

まさに“音楽を楽しむ”時間になりましたね♪



まるで、経験者のようなみんな。
「まちがえても大丈夫、最後だけ合わせてもいいよ。
楽しくできたら、聴いている人に響きます。」



子ども同士で“まねっこ遊び”に挑戦した、めいちゃんとみくちゃんに、拍手！



いろんな音、いろんな弾き方。“ステキ”を探そう



楽器も音も、みんなちがう。やさしい音だね！



みんな、きれいなメロディーを作るね



初めてだもん。明るく楽しくまちがえばいい！



もちろん、先生も初めて。みんなで挑戦！



1人でもくもくと向き合ったり



友達と、見つけ合ったり



みんながステキだから、楽しい授業ができました。
ありがとう！（泉谷さんより）